

Asia Food

「食」業界のアジアへの事業展開を支援する
唯一のネットワーク。

AFBA Monthly

VOL.87

2020.10.27

発行人：田中 秋人
編集長：橘川 昭文
編集：会員サービス向上委員会
一般財団法人アジアフードビジネス協会事務局
〒104-0033東京都中央区新川1丁目3番2号NAXビル9階

TEL：03-3555-6150 FAX：03-6222-8364
E-Mail info@asiafood.jp Web Site http://asiafood.jp
Facebook https://ja-jp.facebook.com/asiafoodbiz



目次

- P.1 <協会活動情報>
「日本食品海外プロモーション(JFOODO)」様との取組み開始
- P.2 <協会会員活動情報>
コロナ禍の中での新たな取組み：
「久原家ベトナム」
- P.3 <海外市場情報>
海外市場レポート：「税務法人ワイズ
コンサルティング(香港)」
- P.4 <会員企業活動情報>
「農水省補助事業国内研修」
<海外市場情報>
「世界のコロナの現状：台湾」
<編集後記>

関連イベント案内

ASEAN大使講演シリーズ

コロナ禍におけるマレーシアの挑戦と展望

◆日時 2020年11月5日(木) 11:00 - 13:00

◆開催方法

Zoomによるオンライン開催

<プログラム>

◆開会挨拶(11:00-11:10)

日本アセアンセンター 事務総長

藤田 正孝

◆基調講演(11:10-12:00)

基調講演「コロナ禍におけるマレーシアの挑戦と展望」

駐日マレーシア 特命全権大使

ダト・ケネディ・ジャワン閣下

◆質疑応答(12:00-12:15)

◆オンラインによる対面セッション(12:15-12:45)

主催 国際機関日本アセアンセンター

共催 駐日マレーシア大使館

定員 200名

対象 マレーシアでの経済及び事業展開にご関心のある方

言語 英語・日本語 逐次通訳

参加費 無料

担当

国際機関日本アセアンセンター

調査・政策分析クラスター

◆参加申し込み

https://data.asean.or.jp/form/seminar/app_seminar.aspx?id=77902409

協会活動情報

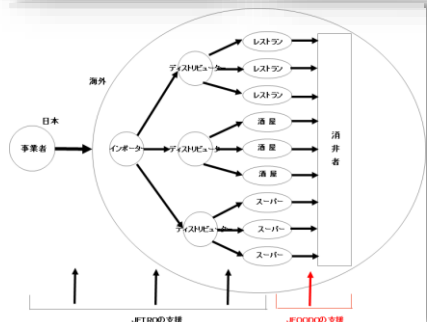
「日本食品海外プロモーション(JFOODO)」様との 取組み開始で、「海外店舗の売上拡大」を支援！

一般財団法人アジアフードビジネス協会は、「日本食品海外プロモーションセンター(JFOODO)」様が行なっている日本食品の海外プロモーション事業について、協会会員様の海外店舗の支援事業として取組みを開始致しました。



JFOODO大泉事務局長

JETRO北川理事



JFOODOとJETROの位置づけ



日本酒のラベル 弊協会 宮本アドバイザー、田中理事長、渡辺理事(左から)

「日本食品海外プロモーションセンター(JFOODO)」様は、2017年に日本貿易振興機構(JETRO)様に設置された日本産農林水産物・食品のブランディングのためにオールジャパンでの消費者向けプロモーションを担う組織です。日本の農林水産物・食品の更なる輸出拡大のためには、海外での更なる需要創出が必要で、JFOODO様は、海外消費者向けのプロモーション強化を通じて需要を喚起し、日本の農林水産物・輸出拡大に貢献していく活動を行っております。この度、アジアでの海外展開を強みとしている弊協会とJFOODO様が連携して、日本食品の海外プロモーションの取組みを開始致しました。

輸出拡大における事業者様とJETRO及びJFOODOの支援の基本的分担は、主体は事業者(特に生産者)様であり、JETROは情報・商談機会の提供を通じた販路構築サポートを行い、JFOODOはすでに販路を持つ事業者様のためにその先の消費者向けのプロモーションを行う運付けになっております。(左側の図表をご参照ください)

これまでの海外における日本食品の輸出拡大のボトルネックは、政府や自治体が日本の生産事業者様と海外インポーターをつなぐ支援をしても、その先のディストリビューションまで広がらないと継続的な消費につながらず、単発の消費者向けの試飲・試食のイベントとしても限界があった点でした。

このような課題に対して、JFOODO様は産地別・銘柄別の土台(プラットフォーム)となれるよう、日本産品の品目単位(「日本酒」「和牛」等)のブランディングのためのプロモーションを行っています。具体的には、「日本酒とは何か」といった品目単位のコミュニケーションは、JFOODO様のプロモーションのプラットフォームに乗り、自社財源は銘柄単位の販売促進に集中することで、事業採算的にも外需拡大をしやすい仕組みです。

2020年度のプロモーション展開品目は、「和牛」「水産物」「日本茶」「米粉」「日本酒」「日本ワイン」「クラフトビール」の5品目7テーマを継続し、コロナ禍であっても登録事業者は増え続け、延べ796社に達しています。

品目別のアジア各国でのプロモーション展開では、「和牛」は、台湾。水産物(ブリ/ハマチ/鯛/帆立)は、香港・台湾。「日本酒」は、シンガポール・香港・中国。「日本ワイン」は、香港で行われる予定です。

このような日本の農林水産物・食品の更なる輸出拡大のためのJFOODO様の支援事業は、外食事業者にとってのメリットもあり、弊協会としても会員企業のアジア展開のサポートに役立てるようJFOODOとは定期的に打ち合わせ致します。

外食事業の会員企業様者にとってのメリット：該当する食材の広告宣伝を最大限に活用し、販売拡大に貢献致します。

①店舗で取り扱っている対象食材が、JFOODO様の費用で広告される。②WEBページで対象食材の取り扱い店として紹介される事もある(水産物・和牛) ③店舗の販促物で店外の広告の想起させることができる(水産物・和牛)等々。

詳しくは、【JFOODOのウェブサイト】のJFOODO プロジェクトで検索下さい。

<https://www.jetro.go.jp/jfoodo/project.html>

文責：アジアフードビジネス協会 理事 渡辺 幹夫